



2023年11月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2023年7月6日

上場会社名 株式会社キューソー流通システム 上場取引所 東
 コード番号 9369 URL <https://www.krs.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 西尾 秀明
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役執行役員管理担当 (氏名) 伊藤 隆一 TEL 042-441-0711
 四半期報告書提出予定日 2023年7月14日
 配当支払開始予定日 2023年8月7日
 四半期決算補足説明資料作成の有無：有
 四半期決算説明会開催の有無：無（機関投資家・アナリスト向け動画配信）

(百万円未満切捨て)

1. 2023年11月期第2四半期の連結業績（2022年12月1日～2023年5月31日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	営業収益		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年11月期第2四半期	90,201	2.4	1,848	△0.6	1,609	△3.4	589	△19.5
2022年11月期第2四半期	88,113	1.6	1,860	18.7	1,665	16.0	731	27.0

(注) 包括利益 2023年11月期第2四半期 △103百万円（-％） 2022年11月期第2四半期 2,076百万円（24.8％）

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2023年11月期第2四半期	23.70	—
2022年11月期第2四半期	29.44	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2023年11月期第2四半期	116,574	51,707	35.3
2022年11月期	118,976	52,155	34.8

(参考) 自己資本 2023年11月期第2四半期 41,141百万円 2022年11月期 41,390百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2022年11月期	—	11.50	—	11.50	23.00
2023年11月期	—	11.50	—	—	—
2023年11月期（予想）	—	—	—	11.50	23.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2023年11月期の連結業績予想（2022年12月1日～2023年11月30日）

(%表示は、対前期増減率)

	営業収益		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	183,000	1.9	4,000	8.2	3,550	8.9	1,600	9.7	64.37

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無
新規 一社（社名）、除外 一社（社名）

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(注) 詳細は、[添付資料] 9 ページ「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 (4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項（会計方針の変更）」をご覧ください。

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2023年11月期 2 Q	25,355,800株	2022年11月期	25,355,800株
② 期末自己株式数	2023年11月期 2 Q	499,116株	2022年11月期	499,116株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2023年11月期 2 Q	24,856,684株	2022年11月期 2 Q	24,856,776株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件および業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、[添付資料] 3 ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

（決算補足説明資料および決算説明会内容の入手方法）

当社は、2023年7月10日（月）に機関投資家・アナリスト向けの動画を配信する予定です。決算説明資料については、後日当社ホームページに掲載する予定です。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	9
(会計方針の変更)	9
(セグメント情報等)	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルス禍が一段落し、経済社会活動の正常化が進む中、個人消費などは持ち直したものの、原材料やエネルギー価格の上昇が続くなど、先行きは不透明な状況にて推移しました。

食品物流業界におきましては、新型コロナウイルスが「5類感染症」に移行する中、外食需要に関する荷動きに回復なども見られましたが、当社においては、鳥インフルエンザ感染拡大による鶏卵供給不足の影響も見られました。内食需要に関する荷動きは、食品の値上がり影響なども見られる中、底堅い推移となりました。また、電気代の上昇や軽油価格の高止まりなど、事業環境は厳しい状況が続きました。

このような状況の中、当社グループは、「徹底力で体質強化」をテーマに掲げ、「機能の強化」「環境変化への対応」「海外展開の基盤拡充」「新領域への参入」の4つを基本方針とした第7次中期経営計画(2022年11月期から2024年11月期)を推進しております。既存資源の最大活用による利益率の向上、事業環境の変化に対応した社会的価値の創出、海外における事業の安定化と、更なる展開に向けた基盤強化を進めております。また、食品の温度管理技術を活かした高付加価値物流を提供できる体制構築に取り組んでおります。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間の業績は、営業収益は902億1百万円(前年同期比2.4%増)、営業利益は18億48百万円(同0.6%減)、経常利益は16億9百万円(同3.4%減)、親会社株主に帰属する四半期純利益は5億89百万円(同19.5%減)となりました。

セグメントの経営成績は以下のとおりであります。

(共同物流事業)

共同物流事業の営業収益は、外食需要に関する荷動きに回復なども見られましたが、鶏卵供給不足の影響も受けた中、出荷物量の減少などにより、減収となりました。利益面は、運送・倉庫の効率化や適正料金化施策などが進捗しましたが、減収による利益減少や、電気代や運送・倉庫のコストアップなどにより、前年を下回りました。

この結果、営業収益は620億59百万円(前年同期比0.9%減)となり、営業利益は4億28百万円(同37.1%減)となりました。

(専用物流事業)

専用物流事業の営業収益は、チェーンストアやコンビニエンスストアに関する既存取引や事業領域の拡大などにより、増収となりました。利益面は、増収による利益増加に加え、コスト改善などが進捗しましたが、労務費などの費用増加により、前年を下回りました。

この結果、営業収益は191億24百万円(前年同期比3.4%増)となり、営業利益は7億46百万円(同5.3%減)となりました。

(関連事業)

関連事業の営業収益は、国内における施設工事の増加や、インドネシアにおける保管や配送の取り扱い物量増加などにより、前年を上回りました。利益面は、増収による利益増加などにより、前年を上回りました。

この結果、営業収益は90億17百万円(前年同期比29.0%増)となり、営業利益は6億68百万円(同69.8%増)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

①資産、負債及び純資産の状況

当第2四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末に比べ24億2百万円減少し、1,165億74百万円となりました。資産の減少の主な要因は、現金及び預金の減少10億67百万円、有形固定資産の減少9億44百万円などによるものであります。

負債合計は、前連結会計年度末に比べ19億55百万円減少し、648億66百万円となりました。負債の減少の主な要因は、長期借入金の増加4億71百万円はありましたが、短期借入金の減少15億22百万円などによるものであります。

また、純資産合計は前連結会計年度末に比べ4億47百万円減少し、517億7百万円となりました。純資産の減少の主な要因は、利益剰余金の増加3億3百万円はありましたが、為替換算調整勘定の減少5億69百万円、非支配株主持分の減少1億99百万円などによるものであります。

②キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、前連結会計年度末に比べ10億67百万円減少し39億18百万円となりました。

当第2四半期連結会計期間末における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次の通りであります。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動の結果得られた資金は、40億13百万円（前年同期は35億29百万円の収入）となりました。これは主に、仕入債務の減少、法人税等の支払額の発生がありましたが、税金等調整前四半期純利益、減価償却費の計上および売上債権の減少によるものであります。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動の結果使用した資金は、34億9百万円（前年同期は39億20百万円の支出）となりました。これは主に、有形固定資産の取得による支出、無形固定資産の取得による支出によるものであります。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動の結果使用した資金は、15億24百万円（前年同期は4億14百万円の収入）となりました。これは主に、長期借入れによる収入はありましたが、短期借入金の純増減額の減少、長期借入金の返済による支出によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、2023年1月10日の「2022年11月期 決算短信」にて公表いたしました連結業績予想の数値に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2022年11月30日)	当第2四半期連結会計期間 (2023年5月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	4,986	3,918
受取手形及び営業未収入金	21,671	20,945
商品	80	57
貯蔵品	179	212
その他	2,567	2,673
貸倒引当金	△146	△162
流動資産合計	29,338	27,646
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	16,569	15,943
機械装置及び運搬具（純額）	20,103	19,126
工具、器具及び備品（純額）	2,294	2,219
土地	30,066	29,611
リース資産（純額）	2,818	3,109
建設仮勘定	1,911	2,808
有形固定資産合計	73,764	72,819
無形固定資産		
のれん	2,095	1,840
顧客関連資産	2,339	2,130
その他	1,159	1,684
無形固定資産合計	5,594	5,656
投資その他の資産		
投資有価証券	2,343	2,326
敷金及び保証金	4,274	4,281
その他	3,715	3,897
貸倒引当金	△53	△53
投資その他の資産合計	10,279	10,452
固定資産合計	89,638	88,927
資産合計	118,976	116,574

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2022年11月30日)	当第2四半期連結会計期間 (2023年5月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び営業未払金	14,262	13,892
短期借入金	12,102	10,579
未払法人税等	569	629
賞与引当金	929	858
役員賞与引当金	77	40
その他	9,416	8,783
流動負債合計	37,356	34,784
固定負債		
長期借入金	23,730	24,201
長期割賦未払金	379	218
退職給付に係る負債	322	321
資産除去債務	692	694
その他	4,340	4,645
固定負債合計	29,464	30,081
負債合計	66,821	64,866
純資産の部		
株主資本		
資本金	4,063	4,063
資本剰余金	4,208	4,208
利益剰余金	31,268	31,571
自己株式	△361	△361
株主資本合計	39,178	39,482
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	589	594
繰延ヘッジ損益	△0	—
為替換算調整勘定	1,841	1,271
退職給付に係る調整累計額	△219	△207
その他の包括利益累計額合計	2,211	1,659
非支配株主持分	10,765	10,565
純資産合計	52,155	51,707
負債純資産合計	118,976	116,574

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2021年12月1日 至 2022年5月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2022年12月1日 至 2023年5月31日)
営業収益	88,113	90,201
営業原価	83,125	85,188
営業総利益	4,987	5,012
販売費及び一般管理費	3,127	3,163
営業利益	1,860	1,848
営業外収益		
受取利息	4	13
受取配当金	9	7
受取賃貸料	31	31
持分法による投資利益	—	0
補助金収入	2	34
養老保険解約差益	8	19
その他	121	105
営業外収益合計	177	212
営業外費用		
支払利息	288	392
貸与設備諸費用	23	25
持分法による投資損失	1	—
その他	59	32
営業外費用合計	372	451
経常利益	1,665	1,609
特別利益		
固定資産売却益	33	32
投資有価証券売却益	6	0
特別利益合計	40	32
特別損失		
固定資産除売却損	19	81
投資有価証券評価損	26	—
リース解約損	2	1
貸倒引当金繰入額	0	—
訴訟関連損失	185	—
特別損失合計	234	83
税金等調整前四半期純利益	1,472	1,558
法人税、住民税及び事業税	488	598
法人税等調整額	75	117
法人税等合計	564	715
四半期純利益	907	843
非支配株主に帰属する四半期純利益	176	254
親会社株主に帰属する四半期純利益	731	589

(四半期連結包括利益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2021年12月1日 至 2022年5月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2022年12月1日 至 2023年5月31日)
四半期純利益	907	843
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△18	8
繰延ヘッジ損益	1	0
為替換算調整勘定	1,170	△968
退職給付に係る調整額	16	12
その他の包括利益合計	1,168	△947
四半期包括利益	2,076	△103
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,443	37
非支配株主に係る四半期包括利益	632	△141

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2021年12月1日 至 2022年5月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2022年12月1日 至 2023年5月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	1,472	1,558
減価償却費	3,116	3,275
のれん償却額	110	122
顧客関連資産償却額	54	60
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	15	24
賞与引当金の増減額 (△は減少)	44	△54
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	△2	6
役員賞与引当金の増減額 (△は減少)	△29	△36
受取利息及び受取配当金	△14	△21
支払利息	288	392
持分法による投資損益 (△は益)	1	△0
投資有価証券売却損益 (△は益)	△6	△0
投資有価証券評価損益 (△は益)	26	—
訴訟関連損失	185	—
有形固定資産売却損益 (△は益)	△30	△20
有形固定資産除却損	15	69
売上債権の増減額 (△は増加)	511	590
棚卸資産の増減額 (△は増加)	△31	△10
仕入債務の増減額 (△は減少)	△667	△770
長期未払金の増減額 (△は減少)	△1	—
未払消費税等の増減額 (△は減少)	△320	18
その他	△257	△534
小計	4,478	4,670
利息及び配当金の受取額	19	26
利息の支払額	△289	△389
訴訟関連損失の支払額	△57	—
法人税等の支払額	△668	△462
法人税等の還付額	47	168
営業活動によるキャッシュ・フロー	3,529	4,013
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△3,248	△2,798
有形固定資産の売却による収入	152	40
資産除去債務の履行による支出	△233	—
無形固定資産の取得による支出	△158	△651
投資有価証券の取得による支出	△13	△5
投資有価証券の売却による収入	16	0
貸付けによる支出	△11	△13
貸付金の回収による収入	28	27
関係会社株式の取得による支出	△440	—
その他	△11	△7
投資活動によるキャッシュ・フロー	△3,920	△3,409
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	1,500	△2,534
長期借入れによる収入	1,996	4,600
長期借入金の返済による支出	△2,378	△2,491
割賦債務及びリース債務の返済による支出	△359	△678
自己株式の取得による支出	△0	—
配当金の支払額	△285	△286
非支配株主への配当金の支払額	△57	△133
財務活動によるキャッシュ・フロー	414	△1,524
現金及び現金同等物に係る換算差額	68	△147
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	92	△1,067
現金及び現金同等物の期首残高	3,800	4,986
現金及び現金同等物の四半期末残高	3,892	3,918

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

(時価の算定に関する会計基準の適用指針の適用)

「時価の算定に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第31号 2021年6月17日。以下「時価算定会計基準適用指針」という。)を第1四半期連結会計期間の期首から適用し、時価算定会計基準適用指針第27-2項に定める経過的な取扱いに従って、時価算定会計基準適用指針が定める新たな会計方針を将来にわたって適用することとしております。これによる四半期連結財務諸表に与える影響はありません。

（セグメント情報等）

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間（自 2021年12月1日 至 2022年5月31日）

1. 報告セグメントごとの営業収益及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

（単位：百万円）

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	共同物流 事業	専用物流 事業	関連事業	計		
営業収益						
顧客との契約から生じる収益	62,625	18,495	6,919	88,040	—	88,040
その他の収益(注) 3	—	—	72	72	—	72
外部顧客への営業収益	62,625	18,495	6,991	88,113	—	88,113
セグメント間の内部営業収益又は 振替高	393	565	2,564	3,522	△3,522	—
計	63,019	19,060	9,556	91,636	△3,522	88,113
セグメント利益	681	787	393	1,863	△3	1,860

(注) 1. セグメント利益の調整額は、セグメント間取引消去額であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

3. その他の収益は「リース取引に関する会計基準」の範囲に含まれる取引であります。

II 当第2四半期連結累計期間（自 2022年12月1日 至 2023年5月31日）

1. 報告セグメントごとの営業収益及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

（単位：百万円）

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	共同物流 事業	専用物流 事業	関連事業	計		
営業収益						
顧客との契約から生じる収益	62,059	19,124	8,943	90,127	—	90,127
その他の収益(注) 3	—	—	74	74	—	74
外部顧客への営業収益	62,059	19,124	9,017	90,201	—	90,201
セグメント間の内部営業収益又は 振替高	519	608	2,625	3,753	△3,753	—
計	62,579	19,732	11,643	93,954	△3,753	90,201
セグメント利益	428	746	668	1,843	4	1,848

(注) 1. セグメント利益の調整額は、セグメント間取引消去額であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

3. その他の収益は「リース取引に関する会計基準」の範囲に含まれる取引であります。